

## 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会

日時：令和4年10月26日（水）午後2時から

場所：ルネこだいら レセプションホール

テーマ：「地域学校協働活動を円滑に進めるために」

### 1 開会

小平市社会教育委員の会議 議長 井戸 雅子

東京都市町村社会教育委員連絡協議会 副会長 吉田 和夫 氏

小平市教育委員会 教育長 古川 正之

### 2 事例発表

「小平市における地域学校協働活動について」

発表者 小平市社会教育委員の会議 議長 井戸 雅子

### 3 講演

「地域活動における「つながりづくり」と「学び」について」

学習支援者 武蔵野美術大学 造形学部 視覚伝達デザイン学科

教授 齋藤 啓子 氏

### 4 グループワーク・発表

### 5 学習支援者による講評

### 6 閉会

小平市社会教育委員の会議 副議長 生尾 光

## 1 大会スローガン

「人を結ぶ これからの社会教育  
～ 語ろう 甲斐の国やまなしで ～」

## 2 研究主題

「新たな生活環境の中での社会教育のあり方を考える  
～ 社会的包摂に向けた社会教育の果たす役割 ～」

社会的包摂とは、社会的に弱い立場にある人々をも含め、市民一人一人、排除や摩擦・孤立から援護し、社会の一員として取り込み、支え合う考え方。社会的排除の反対の概念。

## 3 開催趣旨

甲斐の武将武田信玄を私たち山梨県民は敬意を込めて「信玄公」と呼びます。信玄公は「人は石垣、人は城、情けは味方、仇は敵なり」という有名な言葉を残し、今も「武田節」の一節として歌い継がれています。

社会教育推進の基本方針は、ウイズコロナの時代にあっても、社会教育の原点である「人づくり、つながりづくり、地域づくり」であり、まさに信玄公と想いを一にするものといえます。昨今の「想定外」と言われる各地の大災害は、人と人、人と地域のつながりの重要性を再認識させてくれるものとなりました。新型コロナウイルス感染症の影響により地域社会の先行きが不安視される今だからこそ、持続可能な開発目標（SDGs）の視点も大切にしながら、「誰一人取り残さない」包摂的な社会づくりを推進していくことが社会教育の果たすべき役割と考えます。

この2日間、ここに社会教育関係者がよっちゃばって（一堂に集い）、これからの社会教育についての語り合いが皆様のかけがえのない財産となり、活力ある地域社会づくりの礎となることを期待しています。山梨によっちゃばって話をするじゃんけ（集い、大いに語りあいましょう）。

- 4 主催・共催 一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会  
第53回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会実行委員会  
山梨県社会教育委員連絡協議会、山梨県教育委員会、甲府市教育委員会
- 5 後援 山梨県、甲府市、山梨県市長会、山梨県町村会、山梨県公民館連絡協議会  
山梨県社会教育振興会 等（申請予定）
- 6 参加費 一人3,500円（参加資料代として）
- 7 期日 令和4年11月10日（木）～11日（金）
- 8 参加対象 関東甲信越静各都県・政令指定都市・区市町村の社会教育委員・社会教育担当職員及び社会教育関係者、生涯学習・社会教育に関心のある方

## 9 開催方法

### (1) 開催方法について

- 全体会は、対面とライブ配信との併用で行います。(A)
- 分科会は、対面で行います。ライブ配信や Zoom を利用したオンライン会議は予定していません。(A)
- 万一、県をまたぐ移動が制限されるなど、来県できない状況の場合は、県内の参加者により全体会を開催します。なお、分科会は、中止いたします。(B)
- さらに、県内参加者の参集も難しい場合は、再度、開催方法を検討します。詳しくは、大会公式ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.yamanashi.jp/shougai-gks/shakyou01.html>



開催パターン	参集				ライブ配信	
	県内参加者		県外参加者		全体会	分科会
	全体会	分科会	全体会	分科会		
A 通常開催	○	○	○	○	○	×
B 県内参加者での開催	○	×	×	×	○	×

### (2) 参加方法について

会場参加とライブ配信による参加の2通りの方法があります。

#### 《会場参加の場合》

- 会場参加を原則とします。大会申込サイトからお申込ください。

#### 《参加方法を変更する場合》

- 会場参加申込者で、感染症の再拡大または都合により会場に出かけられなくなった場合、ライブ配信による参加に変更することができます。
- そのため、会場参加申込者全員（複数申込みの場合は、代表者）に、前もってライブ配信視聴用の専用アドレスを配付します。
- ただし、ライブ配信は、全体会限定のため、2日目の分科会については、ライブ配信の予定はありません。後日、送付いたします大会報告書をご覧ください。
- 参加方法を変更する場合は、必ず受付窓口（東武トップツアーズ）へメールでご連絡ください。開催1週間前までにご連絡いただければ、大会冊子を事前送付します。なお、変更日によって宿泊費等の取消料が発生する場合がありますので御確認ください。

#### 《最初からライブ配信による参加を選択される場合》

- 大会申込時に、会場に出かけることなく、全体会をライブ配信で参加することが決まっている場合は、あらかじめ「ライブ配信による参加」を選択することができます。
- その場合は、大会申込サイトから個人（1人）で申込みようにしてください。
- なお、申込登録された住所地へ、事前に大会冊子を郵送するとともに、大会終了後、大会報告書も郵送する予定です。

		会場参加者	ライブ配信による参加者
1	申込み方法	会場参加申込み	ライブ配信参加申込み
2	参加費用	3,500円	3,500円
3	大会冊子の配布	○（会場）	○（郵送）
4	ライブ配信用アドレス配布	○	○
5	全体会の参加方法	会場・ライブ配信 （どちらも選択可能）	ライブ配信
6	分科会の参加方法	会場参加	
7	大会報告書の配布	希望者は別途購入	○（郵送）

10 会場 【1日目】 全体会 甲府市総合市民会館（山の都アリーナ）  
〒400-0867 山梨県甲府市青沼3-5-44

【2日目】 第1分科会 山梨県立図書館（1Fイベントスペース西）  
第2分科会 同上（1Fイベントスペース東）  
第3分科会 同上（2F多目的ホール）  
〒400-0024 山梨県甲府市北口2-8-1  
第4分科会 防災新館（1Fオープンスクエア）  
〒400-8504 山梨県甲府市丸の内1-6-1  
第5分科会 ベルクラシック甲府（2Fヴィクトリア）  
〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-1-17

※会場のガイドラインによる人数制限のため、申込時に分科会の希望をとり調整します。

## 11 日程

9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
第1日目 11月10日(木) 【全体会】			受付	ア ト ラ ク シ ョ ン	開 会 行 事	記 念 講 演	シ ン ポ ジ ウ ム	閉 会 行 事	分 科 会 打 合 せ (関 係 者)
9:00	10:00	11:00	12:00						
第2日目 11月11日(金) 【分科会】	受付	分科会 (分科会ごと閉会)							

## 12 大会内容

### 【11月10日(木)】

- 11:30~12:15 受付
- 12:15~12:40 歓迎アトラクション  
甲府市立甲府商業高等学校 ソングリーダー部
- 12:45~13:25 開会行事
- 13:30~14:50 記念講演  
演題：「夢の実現 ～努力は裏切らない～」  
講師：元ソフトボール女子日本代表監督 宇津木 妙子氏
- 15:00~16:50 シンポジウム  
テーマ「新たな生活環境の中での社会教育のあり方を考える  
～ 社会的包摂に向けた社会教育の果たす役割 ～」  
[コーディネーター]  
進藤 聡彦 氏 (放送大学教授・山梨大学名誉教授)  
[シンポジスト]  
佐藤 悦子 氏 (山梨県立大学名誉教授・山梨県看護協会会長)  
長池 伸子 氏 (特定非営利活動法人スペースふう 事務局長)  
斎藤 和真 氏 (特定非営利活動法人かえる舎 代表理事)
- 16:50~17:00 閉会行事



※物販等ブース及び県内社会教育委員・社会教育団体の活動紹介パネルを展示します。

【11月11日(金)】

受付 9:10～ 9:30

○ 分科会

9:30～12:00

	テーマ・サブテーマ/ 助言者	発表者・タイトル・概要	話題提供 (県生涯学習課)
第1分科会	<p><b>ひとづくり</b> 「学校・家庭・地域の連携協働のあり方」～地域全体で子どもを育てるために～</p> <p>&lt;助言者&gt; 山梨県立大学人間福祉学部 准教授 太田 研氏 (山梨県社会教育委員)</p>	<p>◆群馬県 井上 美智子氏 (館林市社会教育委員会 副議長) 「放課後子ども教室の開設に向けて ～地域学校協働活動への 社会教育委員としての取組～」</p> <p>◇放課後子ども教室の新規開設に向けて、社会教育委員として関わる中で見えてきた課題や今後どのような事業であるべきかについて協議を重ね、地域の子どもたちや大人にとって互いに良い学びの機会となった取り組みを紹介します。</p>	<p>・ほっと！ネット セミナー</p> <p>・GIGA ワークブック</p> <p>・スマサポ</p> <p>(青少年保護育成担当)</p>
第2分科会	<p><b>つながりづくり</b> 「つながりを基盤としたこれからの社会教育」～持続可能な「つながり」づくり～</p> <p>&lt;助言者&gt; 身延山大学仏教学部 教授 伊東 久実氏 (キャンパスネットやまなし企画運営委員長)</p>	<p>◆栃木県 小太刀見代子氏 (鹿沼市社会教育委員の会) 「家庭教育でつながりづくり ～持続可能な組織づくり～」</p> <p>◇鹿沼市では、家庭教育啓発支援事業として、市内の小・中学校・民間団体で、持続可能な家庭教育の組織づくりを実施しています。これからの社会教育に求められる「地域を基盤に、つながりを持って地域をデザインしていくこと」について紹介します。</p>	<p>・幼児教育番組 「子育て日記」</p> <p>・やまなし読書活動促進事業</p> <p>(成人・家庭教育担当)</p>
第3分科会	<p><b>地域づくり</b> 「魅力ある地域づくりの実現」～地域ネットワークを生かして～</p> <p>&lt;助言者&gt; 身延山大学客員教授 望月 厚志氏</p>	<p>◆茨城県 鈴木 清進氏 (結城市社会教育委員会 副議長) 「つづいて一步 ～社会教育委員自主研修会の取り組みから～」</p> <p>◇市内小学生から「歩いて行ける図書館がほしい」という要望が多くありました。そこで、地域の課題として、社会教育委員による、ゆうき図書館事業「としょかんたんけんツアー」への関わりと自主研修会の取り組みについて紹介します。</p>	<p>・フロンティアアドベンチャー「やまなし海洋道中」</p> <p>・やまなし若者まちづくりチャレンジ協働事業</p> <p>(青少年教育担当)</p>
第4分科会	<p><b>生涯学習</b> 「人生100年時代の学びのあり方」～豊かな人生をおくるための生涯学習のすすめ～</p> <p>&lt;助言者&gt; 山梨県社会教育振興会 会長 山田 勝彦氏</p>	<p>◆埼玉県 桑原 静氏 (さいたま市社会教育委員 (合同会社ババラボ代表)) 「できないことは増えるけど、できることがある。 長生き時代における場づくり」</p> <p>◇年を重ねても働いたり、学んだり、多世代で交流できる場「BABA1ab さいたま工房」の実践例や、テクノロジーを利用したシニアの学習の場の創出について紹介します。</p>	<p>・山梨県生涯学習推進センター (まなびネット)</p> <p>・山梨ことぶき勸学院</p> <p>(生涯学習・社会教育担当)</p>
第5分科会	<p><b>社会的包摂</b> 「包摂的社会的の実現に向けた社会教育のあり方」～多様な人々がかかわり合う社会づくり～</p> <p>&lt;助言者&gt; 都留文科大学教養学部 准教授 富永 貴公氏 (山梨県社会教育委員)</p>	<p>◆山梨県 山本 睦氏 (甲州市社会教育委員の会 議長) 「高校生の目を通して地域を考えよう ～高校生と大人の本音の語り場～」</p> <p>◇地元の高校生が地域に対して感じていることを基にテーマを設定し、調査・研究を行い、社会教育委員と意見交換を重ねながら、これからの地域や自分たちの生活について考えを深めていった取り組みを紹介します。</p>	<p>・山梨県社会教育委員の会 ～提言書～</p> <p>(生涯学習・社会教育担当)</p>

## 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会 交流大会・社会教育委員研修会

日 時：令和4年12月10日（土）午後1時30分～午後4時15分

場 所：昭島市公民館 小ホール

主 催：東京都市町村社会教育委員連絡協議会

テーマ：市民のニーズを活かす・つなげる社会教育 ～対話からつくろう これからの「学び」～

## 次 第

## 第1部 交流大会

## ○式 典

開 会 都市社連協副会長 篠崎 光正（調布市）

挨 拶 都市社連協会長 谷部 憲一（昭島市）

来賓祝辞 昭島市教育委員会教育長 山下 秀男 氏

## ○各ブロック研修会実施報告

第1ブロック幹事 福生市

第2ブロック幹事 立川市

第3ブロック幹事 日野市

第4ブロック幹事 小平市

第5ブロック幹事 武蔵野市

質疑応答

## 第2部 社会教育委員研修会

## ○「孤独を解消する！ だれもが対話し、つながる社会へ」

講師：(株)オリィ研究所 OriHime パイロット なおき 氏

NPO 法人東京こどもホスピスプロジェクト 代表理事 佐藤 良絵 氏

質疑応答

## ○閉会行事

挨 拶 東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課 主任社会教育主事 梶野 光信 氏

閉 会 都市社連協副会長代理（町田市事務局）

## 行事等結果報告

社会教育委員の会議  
令和4年12月15日  
地域学習支援課

1 行事名	令和4年度青少年健全育成講演会
2 開催年月日等	令和4年11月8日(火) 午後3時～4時
3 会場	中央公民館 ホール
4 内容	<p>「成年年齢引下げに伴う若年者の消費者被害を防止するために」 講師：鈴木 伸子 氏 東京都消費者啓発員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成年年齢引き下げで、トラブルが身近なものになった。</li> <li>・ネット詐欺と定期購入、アフィリエイトとドロップシッピング、暗号資産、振り込め詐欺被害救済法について。</li> <li>・消費生活センターの相談対応の仕方。</li> </ul> <p>以上の点などについて、パワーポイントによる分かりやすい講義が行われた。</p> <p>&lt;アンケート感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クーリングオフの細かな点は大変勉強になった。悪い人たちも良く考えるなど感心してしまうくらいだが、それだけ消費者も賢くならなければならないと思いました。</li> <li>・子どもに限らず気をつけなければならないと思いました。</li> </ul>
5 主催	小平市教育委員会
6 参加者数 (前年実績)	<p>17人(23人)</p> <p>① 小平市青少年対策地区委員会関係者 13人 ② 学校支援・放課後子ども教室関係者 4人</p>
7 特記事項	本講演会は、青少年対策地区委員会代表者協議会研修と兼ねて行い、また、地域教育及び放課後子ども教室のコーディネーター等の研修としても位置付けて行った。
備考	

## 行事等結果報告

社会教育委員の会議  
令和4年12月15日  
地域学習支援課

1 行事名	第34回小平市青少年音楽祭										
2 開催年月日等	令和4年10月23日(日) 午前10時～午後3時										
3 会場	ルネこだいら 大ホール										
4 内容	目的：青少年に音楽発表の場を提供し、青少年の健全育成を図る 対象：小学生以上の青少年										
5 主催	小平市教育委員会 企画・運営：小平市青少年委員会 舞台運営協力：小平青少年吹奏楽団										
6 参加者数 (前回実績)	出演者 14組 212人 (平成30年度 16組 265人) 来場者数 434人 (平成30年度 599人)										
7 特記事項	司会者：都立小平西高校吹奏楽部3人										
備考	<table border="0"> <tr> <td>出演者内訳</td> <td>学校のクラブ・サークル</td> <td>4組 (小学校2、中学校1、高校1)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>友人同士の少人数グループ等</td> <td>5組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地域のグループ</td> <td>5組</td> </tr> </table>		出演者内訳	学校のクラブ・サークル	4組 (小学校2、中学校1、高校1)		友人同士の少人数グループ等	5組		地域のグループ	5組
出演者内訳	学校のクラブ・サークル	4組 (小学校2、中学校1、高校1)									
	友人同士の少人数グループ等	5組									
	地域のグループ	5組									



## 行事等開催予定

社会教育委員の会議  
令和4年12月15日  
地域学習支援課

1 行事名	令和5年 二十歳の集い（旧成人式）
2 開催年月日等	令和5年1月9日（月・祝）
3 会場	ルネこだいら 大ホール
4 内容	<p>民法の改正により成年年齢が引き下げられたことに伴い、「成人式」の名称を「二十歳の集い」に変更し、開催する。</p> <p>目的：おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます。</p> <p>対象者：平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度と同様に午前と午後の2部制で開催する。</li> <li>【午前の部】午前11時～正午</li> <li>【午後の部】午後2時～3時</li> <li>・平成22年度より始めた対象者による実行委員会形式を継続。</li> <li>・式典後のアトラクションについては、恩師からのビデオメッセージ、抽選会を実施する予定。</li> <li>・式典のライブ配信を実施する予定。</li> </ul>
5 主催	共催：小平市、小平市教育委員会 企画・運営：二十歳の集い実行委員会
6 参加者数 (前年実績)	<p>令和4年11月25日現在 対象者：2, 271人</p> <p>〔令和3年度 対象者：2, 219人 参加者：1, 157人（52.1%） 天候：晴れ〕</p>
7 特記事項	案内通知を12月上旬に対象者へ郵送するとともに、市報12月20日号、市ホームページにて周知する予定。
備考	今後の社会情勢、新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、再度対応を見直す。

## 行事等開催予定

社会教育委員の会議  
令和4年12月15日  
地域学習支援課

1 行 事 名	第40回小平市中学校生徒意見発表会
2 開催年月日等	令和5年1月10日(火) 午後2時～4時
3 会 場	小平市民文化会館(ルネこだいら) 大ホール
4 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表者は、市立中学校8校、白梅学園清修中学校、創価中学校及び都立小平特別支援学校中学部から各1人の合計11人の予定。</li> <li>・全体の司会、舞台運営を今年度当番校である四中の生徒会が担当。</li> <li>・運営に関することは、参加中学校の担当教諭、協力団体、指導主事等で構成する運営委員会で協議・決定。</li> <li>・今年度の運営委員長は当番校(四中)校長。運営副委員長は次年度当番校(三中)の副校長。</li> <li>・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上、一般来場者を受け付ける。昨年度同様、来賓はなし。</li> <li>・意見発表の様子をビデオ撮影したものをDVD化し、発表者及び参加中学校に配付予定。</li> </ul>
5 主 催	<p>主催：小平市教育委員会</p> <p>協力：小平市立中学校校長会、小平市立中学校PTA連合会、小平市青少年委員会、小平市青少年対策地区委員会代表者協議会、小平青年会議所、北多摩北地区保護司会小平分区、小平市更生保護女性会、東京小平ロータリークラブ、東京小平ライオンズクラブ 計9団体</p>
6 参加者数	<p>令和3年度実績：248人</p> <p>※令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来賓及び一般来場者はなし。</p>
7 特記事項	発表者や参観生徒に贈呈される記念品を、北多摩北地区保護司会小平分区、小平市更生保護女性会、東京小平ロータリークラブ、東京小平ライオンズクラブからご提供いただく予定。
備考	

## 行事等結果報告

社会教育委員の会議  
令和4年12月15日  
中央公民館

1 行 事 名	公民館主催イベント（10月、11月）
2 開催年月日等	①中央公民館サークルフェア 11月5日（土）、6日（日） ②上水南公民館まつり 10月22日（土）、23日（日） ③花小金井北公民館まつり 10月29日（土）、30日（日） ④小川公民館まつり 11月5日（土）、6日（日） ⑤津田公民館まつり 11月19日（土）、20日（日） ⑥鈴木公民館まつり 11月26日（土）、27日（日）
3 会 場	①中央公民館、②上水南公民館、③花小金井北公民館、④小川公民館、 ⑤津田公民館、⑥鈴木公民館
4 内 容	①中央公民館サークルフェア 2022 について 中央公民館サークル、及び今後仲間を集めて中央公民館でサークル活動を始めたいと考えている36団体（スポーツ・運動系3団体、文化・芸術系15団体、学習・課題解決系14団体、環境系4団体）が展示や体験を通してサークル活動のPRを行った。 中央公民館サークルフェア 2022 2日間合計764人参加  ②③④⑤⑥分館まつりについて 公民館活動団体の成果の発表、及び地域のコミュニティづくりの場として27団体が舞台発表を、47団体が展示等を行った他、各館においてまつり音楽会を開催した。 上水南公民館まつり 2日間合計337人参加 花小金井北公民館まつり 2日間合計307人参加 小川公民館まつり 2日間合計287人参加 津田公民館まつり 2日間合計557人参加 鈴木公民館まつり 2日間合計306人参加
5 主 催	①はサークルフェア 2022 実行委員会、②③④⑤⑥は各館のまつり実行委員会が、小平市公民館と共催してそれぞれ実施。
6 参 加 者 数	令和元年度 ①の参加者数1,982人、②③④⑤⑥の参加者数5,647人。 令和2年度 中止 令和3年度 中央公民館サークルフェアのみ開催。参加者数937人。
7 特 記 事 項	

## 行事等開催予定

社会教育委員の会議  
令和4年12月15日  
中央公民館

1 行 事 名	公民館主催イベント（1月）
2 開催年月日等	①タイムリー講演会 1月14日（土） ②大沼公民館まつり 1月21日（土）、22日（日）
3 会 場	①中央公民館、②大沼公民館
4 内 容	<p>①タイムリー講演会「地域防災のこれから～2023年は、関東大震災から100年～」</p> <p>目的等：関東大震災から来年で100年が経つ。本講演会においては、これまでに多摩地域で発生した災害について取り上げるとともに直近の地震災害の被害状況、防災対策の現状を交えながら、小平市と市民の防災対策のあり方を学ぶ。</p> <p>講演は小平市主催の防災にまつわる講演会を行った実績のある危機管理教育研究所に依頼して行う。</p> <p>対 象：市内在住、在勤、在学の方 時 間：13時30分～15時30分 定 員：60名</p> <p>②第22回大沼公民館まつり</p> <p>公民館利用団体の学習活動の成果の発表及び地域のコミュニティづくりの場として、まつり実行委員会との共催により開催している。</p> <p>本年度は3年ぶりの実施となり、写真、ちぎり絵、水彩画、生け花等の展示発表の他、ギター演奏、大正琴の舞台発表等を予定している。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症が再び感染拡大している状況であることから、例年行っている物販や講演会などは実施しない予定。</p>
5 主 催	①中央公民館、②大沼公民館まつり実行委員会、大沼公民館
6 特 記 事 項	大沼公民館まつり実施実績 令和元年度 2日間合計参加者数1,402人 令和2年度、令和3年度 中止
備考：	

## 行事等結果報告

社会教育委員の会議  
令和4年12月15日  
中央図書館

1 行事名	鈴木まもるさん講演会「絵本と鳥の巣のふしぎ-鳥の巣がおしえてくれること-」
2 開催年月日等	令和4年12月4日（日）
3 会場	中央図書館3階視聴覚室
4 内容	<p>目的：人気作家による講演会を開催し、参加者に作者の世界観に直接触れていただくとともに、普段図書館を利用していない市民等の図書館利用を促進する。</p> <p>対象：小平市内在住の小学生以上の方</p> <p>内容：鳥の巣は住むためではなく、ひなを守り育てることを目的として作られたものであること、鳥の巣と絵本には「子どもたちを元気に育てるもの」という共通点があることなどを、子育てにも関連させながら写真や動画を交えて講演していただいた。</p> <p>参加者は講師が持参した世界の鳥の巣の実物に触れることができ、また子どもたちからは活発に質問や発言が見られ、大変好評であった。</p>
5 主催	中央図書館、小平市子ども文庫連絡協議会
6 参加者数	来場者数：47名
7 特記事項	
備考	

## 行事等開催予定

社会教育委員の会議  
令和4年12月15日  
中央図書館

1 行事名	第43回 ふるさとの新聞元旦号展
2 開催年月日等	中央図書館：令和5年1月7日（土）～12日（木） 上宿図書館：令和5年1月14日（土）～18日（水） 大沼図書館：令和5年1月21日（土）～26日（木） 小川西町図書館：令和5年1月28日（土）～2月2日（木）
3 会場	中央図書館、上宿図書館、大沼図書館、小川西町図書館
4 内容	全国各地の1月1日発行の主要地方新聞を集め、展示する。 あわせて、郷土色豊かな地方出版社の出版物の展示を行う。
5 主催	小平市立図書館
6 特記事項	新聞の寄贈依頼は、約60社を予定している。 (昨年度は56社から寄贈があった。)
備考：	